よしかわ議会だより

NO.173
平成29年5月1日

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1
TEL&FAX（982）9421
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp

平成29年度予算が可決

新庁舎建設事業などを実施

新庁舎　建設中のようす（※8ページに説明があります。）

3月定例会の概要

3月定例会は、2月23日から3月22日までの28日間にわたり開催されました。

市長提出議案25件は、すべて原案のとおり可決し、議員提出議案は3件を上程、2件を可決しました。

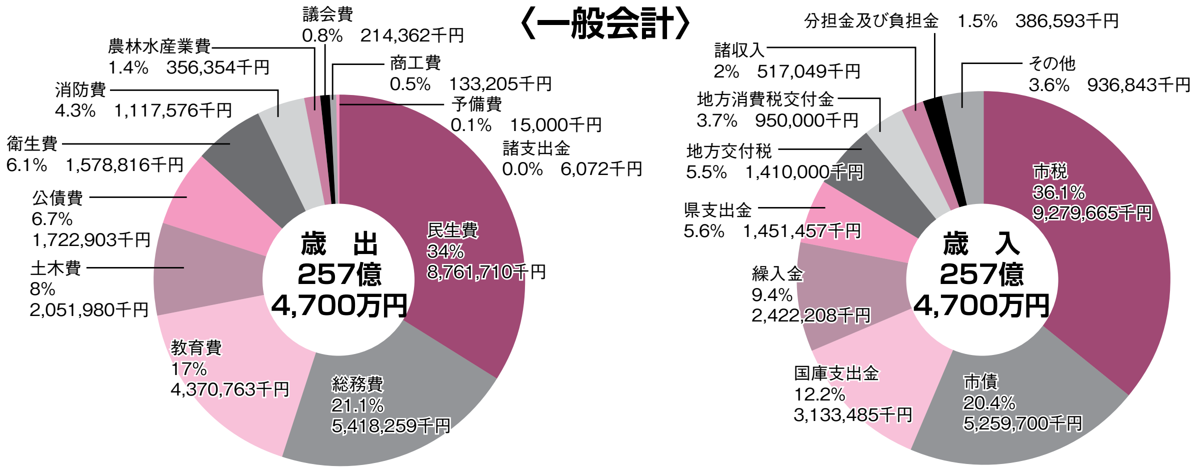
また、3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、16人の議員が市政全般にわたり市の見解をただしました。

市長提出議案

新年度一般会計予算 257億4700万円でスタート

一般会計の予算は、前年比26.7％増の257億4700万円となり、第5次総合振興計画後期基本計画の効果的な実施に向け、様々な事業が展開されます。

〈一般会計〉



市長提出議案——次ページへ続く

特別会計など新年度予算決まる

5つの特別会計と水道事業会計の平成29年度予算は左表の通り決まりました。

〈水道事業会計〉

収益的収入及び支出	予算額（千円）
水道事業収益	1,545,139
水道事業費用	1,477,208

資本的収入及び支出＊注	予算額（千円）
資本的収入	267,793
資本的支出	738,810

〈特別会計〉

会　計　別	予算額（千円）	前年度比（％）
国民健康保険	8,440,079	△1.8
下水道事業	1,346,846	0.1
農業集落排水事業	31,232	△26.7
介　護　保　険	3,393,006	1.5
後期高齢者医療	558,763	14.2
合　　計	13,769,926	△0.4

注：水道事業会計において資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

今号の主な内容

平成29年度予算を可決……①～②
施政方針に会派代表者が問う！……③
答えて市長！一般質問……④～⑥
常任委員会の審査から……⑦
審議結果・編集後記……⑧

マチイロ　検索

討論

平成29年度一般会計予算に対し3名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反対　日本共産党吉川市議員団　遠藤　義法

保育所待機児童は86人いる。要因は、市が保育に責任を負っていないことにある。第一、第二保育所を民営化するとして正職員保育士を採用していません。第二保育所を建替えて定員増を図るべきである。

請願が採択された子どもの甲状腺エコー検査の助成制度が実施されておりません。

公共施設の利用料の軽減や家賃補助、配食サービス料金などがカット、負担増となったままである。きびしい生活状況のいまこそ元に戻すべきである。

東中学校の大規模改修時に買い取りでエアコンを設置するが、全小中学校への設置にむけ計画変更をすべきである。

市長は、庁内で検討中の施策を市民に実施すると報告している。組織として検討・結論を出す機能がないがしろにされており、改善すべきである。

賛成　公明党吉川市議団　小野　潔

平成29年度一般会計予算は、前年度比26・7％増の257億4700万円です。公明党が主張してきました主な事業を上げますと、妊娠期から出産、育児に切れ目のない支援の「子育て包括支援センター」の開設、いじめ根絶の為の「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を中学1年生に加え、小学校5年生にも実施、障害がある方や難病の方が緊急時、災害時に携帯できる「ヘルプカード」、知的障害や自閉症の方への「コミュニケーション支援ボード」の作成、また長年の訴えが事業化された、三輪野江小をモデルケースとして開設される「放課後子ども教室」等、評価し期待いたします。何度となくご提案してきた公共交通の充実では、タクシーチケット補助事業も視野に入れて一日も早い公共交通システムの試行を望むものです。

賛成　市民の会・無所属　戸田　馨

平成29年度予算は、市民の声を受けた政策決定をされており、「市民との共動によるまちづくり」を目指した「水と光」の予算編成であると評価いたします。注目すべき点は「市税の増加」です。平成37年辺りまでは人口増が見込まれる吉川市の特徴が顕著に反映され、今後吉川市が「活力のある街」として住民に選ばれる可能性を大きく秘めており、大変喜ばしい点であります。しかし、人口増が見込まれる一方で過疎化、高齢化が加速している地域もあり、いずれ訪れる人口減を見据え特段の対応も求めさせていただきます。全ての市民と「未来を共に創る」という理念を共有し、総合振興計画、総合戦略の下、子育て支援、教育福祉の整備、産業振興等、市民と行政の協働のまちづくりを更に進めていただくことをお願いし賛成討論と致します。

市長提出議案――前ページから続き

平成29年度一般会計　こんな事業を実施します

新庁舎建設事業
35億1511万1000円

新庁舎に係る建設工事等を行います。

中学校建設事業
20億5762万8000円

（仮称）第４中学校の建設に向け、実施設計及び用地の購入を行います。

用排水路地区整備事業
1億7142万5000円

用排水路の整備や改修を行います。

保育委託事業
13億1426万9000円

民間保育所に保育が必要な就学前児童の保育を委託します。

武蔵野操車場跡地及び周辺地区整備事業
3億6314万9000円

吉川美南駅の東口周辺地区について、市施行による土地区画整理事業を実施し、計画的な市街地整備を行います。

吉川市敬老祝金支給条例の一部を改正

敬老の意を表し支給していた敬老祝金を、敬老祝品の贈呈に変更するものです。

吉川市印鑑条例の一部を改正

マイナンバーカードを利用して、市が発行する証明書を全国のコンビニエンスストア等の端末から取得できるようになります。

◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501
吉川市吉川二丁目1番地1
吉川市役所　議会事務局
TEL&FAX(982)9421

中原市長の施政方針に 会派代表者が問う！

◆市長の市政方針より◆

▼市民の安全・安心を高める
▼子どもの笑顔で満たされるまちをつくる
▼まちの価値を高める
▼まちの住みよさを高める

「市民の幸福実感を追及する」こと、「共動によるまちづくりを推進する」ことを柱に、「価値ある未来を」をこの吉川に作り上げられるよう全力で取り組んでまいります。

日本共産党吉川市議員団　遠藤　義法

(問) 今年度を減災元年として自助・共助・公助の連携を図るとしているが、事業の考え方は。

(答) 自助の意識を高めていくため、実践的な訓練も実施した。子どもへの減災教育、家具転倒防止策や住宅の耐震化率を高めるなどの施策を実施する。

(問) 公園再生を検討してきたが、コンセプトと整備計画は。

(答) 「市民に身近で親しみのある公園」との整合性を図り、関公園をさくら公園としてアスレチックを位置付けてすすめる。

(問) 吉川美南駅東口開発など新しいまちだけでなく、吉川駅周辺のまちも魅力あるものとするための考え方と整備計画は。

(答) 吉川の街の拠点であり、吉川駅をおろそかにしてはいけない。駅前の空き店舗、未利用地の活用、駅の景観を図ることを念頭に地権者の方々と話をし、しっかりしたものとしたい。

(問) 公共交通整備の基本的な考え方、推進計画は。

(答) アンケート回答等からドア・ツー・ドアで目的地まで行けることが求められており、制度設計をしていく中で試行したい。同時に、財政的に継続可能な方法ですすめることが大事である。

自民・みらい　中嶋　通治

(問) 高齢化が進む中、買い物難民、運転免許証を自主返納した等、足の確保が喫緊の課題であるが対応は。

(答) 移動実態調査を踏まえ精査。経済的に、今後もしっかり運営出来るような形で今年度中に必ず試行する。

(問) 新流山橋の建設により市内に道路が入り都市軸道路の整備が予定されている、三輪野江地区の発展に向けどの様に近隣市と連携を取り発展させるのか。

(答) 全体を開発することは不可能。三郷市と歩調を合わせる。スマートインターも大型化、両通行方を三郷市から聞いている。将来検討エリアとしてしっかり選定していく。

(問) 三輪野江地区で白地地区を青地地区に編入すると聞いているが市独自の方向性は。

(答) 国の基準が二重縛りになっている。農業の振興は産業の振興と両輪。白地を青地に編入する事も、ある程度は必要で地権者の意向もある。南側は将来検討して行く。常磐道北側は近郊農業を立ち上げ、生活の部分整備を醸成したい。産直の販売所、農業的な広場、要望を受け入れ開発を進めたい。

市民の会・無所属　降旗　聡

(問) 市長就任３年目の所感と災害に強いまちづくりについて。

(答) Ｈ27年の関東・東北豪雨では、当市初の避難勧告の発令を経験し、改めて自然の恐ろしさを感じました。そのため、「減災」に対する市民の意識向上と防災関係機関の連携を図るため、第１回減災プロジェクトを開催しました。Ｈ29年４月から、退職自衛官を職員として配置し、東日本大震災や熊本地震で現場指揮や復旧作業に携わった経験を活かし、訓練や啓発活動を行っていただきたいと考えています。

また、災害発生時には現場における調整や指示を行っていただくとともに、自衛隊など関係機関との連携にも迅速に対応していただけると考えており、危機管理体制を更に強化します。

(問) 市内公用施設と三輪野江地区をつなぐ道路整備について。

(答) 吉川美南駅東口周辺地区と三輪野江地区を結ぶ東西方向の道路については、(仮称)中曽根三輪野江線として、都市計画マスタープランに位置付けていますので、吉川美南駅東口周辺整備の進捗状況や交通量の変化などを勘案し、検討を進めます。

公明党吉川市議団　五十嵐　恵千子

(問) 市長就任３年目を迎えての所感と非常勤特別職として採用された参与の実績などを伺う。

(答) 奇をてらわず、先輩方が積み上げてきた事をさらに積み上げ、継続して行く事が市の安定に繋がる。敬意と感謝で今後も取り組んで行く。参与は幅広い分野でお力をいただき、支えてもらった２年間だった。

(問) 市内全小学校５年生を対象に「減災教育」を実施とあるが、内容と、「防災ジュニアリーダー育成事業」を提案。ご見解を。

(答) 図上訓練を中心に事業を展開。ご提案は現状を確認しながら減災教育を考えて行きたい。

(問) 子育て世代包括支援センターの開設に向けた準備を伺う。

(答) 新庁舎移転時に保健センターに設置。新年度は人材育成。

(問) 魅力ある農業の振興を伺う。

(答) 市民農園を拠点に地域の力を借りて近郊農業の振興をスピード感を持ち実験的に行いたい。

(問) 吉川駅周辺の活性化を伺う。

(答) 吉川駅を活性化することが吉川市の発展に繋がる。市民の声を聞き光を当てて行きたい。

(問) 現庁舎跡地の利活用を伺う。

(答) 売却する話もあったが、市民福祉の拠点として行きたい。

議員提出議案

意見書

今定例会では、３件を上程し、次の２件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。(一部抜粋)

長時間労働の規制強化を求める意見書

平成27年12月の電通の女性新入社員過労自殺問題は働く者に大きな衝撃を与えています。過労死や過労自殺とみられる労働者の死亡事例は後を絶たず、平成25年、「過労死等防止対策推進法」施行後も、悲劇は繰り返されています。

政府は「働き方改革実現会議」で、上限規制のありかたを含めて議論するとしています。

政府が昨年初めて発表した「過労死対策白書」でも、時間外労働時間と「脳・心臓疾患と死亡数」が比例している事、平成27年度の「仕事が一因となった自殺」数が年間２１５９人と報告しています。過労死や過労自殺を生む異常な働かせ方をなくすために、残業時間の上限を法律で明記するなど、長時間労働の規制強化は不可欠です。

よって、働く人の命と健康、家族の暮らしを守り、健康で文化的な生活が保障される社会を実現していくために、長時間労働の規制強化を強く求めます。

国に於いては、残業時間の上限規制、勤務時間インターバル制度の導入、週休制の確保などの対策にとりくまれるよう強く要望します。

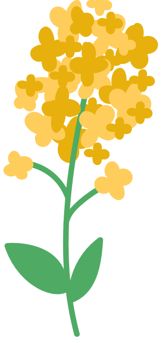
放射能廃棄物を全国に拡散させないよう求める意見書

低線量の放射線被ばくの影響は、これ以下で安全であるという「閾値」がないこと、被ばく量の強さとともに健康リスクが増大することを前提に被ばく防護を行うことが、国際的合意となっている。

ところが、２０１１年の福島原発事故を受け、政府は「放射性物質汚染対処特措法」を定め、事故で生じた放射性廃棄物の処理を大幅に緩和して８０００ベクレル／kg以下であれば、通常の廃棄物として処分できるとした。さらに環境省は、８０００ベクレル／kg以下の除染土を全国自治体の公共事業で使えるとする方針を決定した。政府のこのような方針は、放射性廃棄物を全国に拡散させるおそれが生じ、また、原発事故の完全終息に向けた責任を薄めることにもつながりかねない。以上のことから、下記事項を実現されるよう強く要請する。

１.「放射性物質汚染対処特措法」を見直し、８０００ベクレル／kg以下の放射性廃棄物を通常の廃棄物と同様に処分できるという方針を撤回すること。

(他５項目)



答えて市長！　一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。
会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は6月上旬となる予定です。

教育大綱について

戸田　馨

(問)　教育大綱策定にあたり、出来上がったものに対する市長の考え、また今後は「周知」と「実践」が重要だと考えるが、具体的な進め方を伺う。

(答)**市長**　吉川市の教育大綱は、未来を担う子供達に向け、一言で吉川市の教育方針が分かり、子供から大人まで幅広い世代に伝えることができる素晴らしいものを作り上げることができた。「周知」と「実践」については、教育大綱をデザインしたものを活用し、文章や意味を子供達に伝えてゆくと同時に、現場の教員にも「志」とはどういうものかしっかりと伝えてゆくことが大事であると考えている。「志」を為しとげるため「学力」「体力」「非認知能力」の向上が重要であり、「非認知能力」の向上においては、先行事例を参考にし、学識者を招いて吉川市に合ったプログラムを作成してゆきたい。

◆公共交通について

(問)　実施に向けた具体的な案とタイムスケジュールについて

(答)**政策室長**　千五百名を対象にした移動実態調査を行った結果、バスによる移動手段だけでなく、タクシー利用料金補助をはじめとするドア・ツー・ドアも視野に入れ制度設計を進める必要があると考えている。

「公金等の紛失」について

稲垣　茂行

(問)　被害届提出から7か月が経過したが、捜査等の進展は。

(答)**政策室長**　関係者の事情聴取や指紋の採取等行ったが、犯人の特定には至らず、捜査は終了したと聞いている。

(問)　紛失（盗難とも思われる）となった公金の処理は、いつどのように実施されるのか。また、監査委員に求めた会計課職員の賠償責任に対する監査の結果は。

(答)**政策室長**　監査結果は、賠償責任は認められたが、損害賠償額については合意決定には至らず「合議不調」となった。市では、監査委員の見解に基づき、関係者へ損害賠償を求め、すでに納付された。

(問)　賠償の内容は。

(答)**政策室長**　会計課職員3名に対し、責任度合に応じ、6・3・1の割合で利息分を含め、賠償額を決定し支払を命じた。

(問)　地方自治法243条の二により賠償を求めたのは当然だが、「決定は、監査委員の合議によるものとする」と9項にある。「合議不調」で、市長が賠償を命じることは出来ないのでは。

(答)**政策室長**　自治法243条の二の関連では、『しなければならない』とある中で、9項のみ『よるものとする』となっている。また相当の期間決まらない場合は、市長の判断、裁量権で出来ると考えている。

近隣市町と情報交換を　東・北部のバス路線整備へ

降旗　聡

(問)　東部・北部地区のバス路線網の整備について。①これまで、近隣市町とバス路線開設にむけた話し合いの有無。また、協議会等の設置に向けた取り組みの有無について。②バス路線の充実にむけて、越谷市、三郷市、松伏町、千葉県野田市との連携も重要だが、市の見解について。

(答)**政策室長**　①公共交通に関する考えやバスの運行支援施策が自治体により異なるため、これまではありません。②移動の目的や居住地により、その目的地は市内だけではないと認識している。昨年末に行った「移動実態調査」結果からも同様の回答が得られている。今回行った調査結果や市民要望を踏まえながら、必要に応じて民間バス事業者へ要望するとともに、近隣市町とも情報交換をしていく。

◆生活道路の安全性向上を

(問)　通学路に指定している道路や学校・公園に近接する外側線（白線）に一部段差を付けたもの（リブ式）の導入について。

(答)**都市建設部長**　リブ式は、車両が走行すると振動や音が発生し、運転手に注意を促す効果が期待できる。7㎜程度の段差があるため、住宅地では、騒音の原因や、歩行者などの転倒を招く危険性もある。導入については今後研究していく。

市内北部・東部地域活性化への取り組みについて

五十嵐　惠千子

(問)　市内北部・東部地域では、人口減少と高齢化が進んでいることから暮らしの先行きを心配される方が少なくありません。地域の活性化や地域の学校教育について、どの様に認識され解消をお考えかお伺い致します。

(答)**市長**　当市、平成37年迄人口が増え続ける中で、旭地区では、市民農園を充実させ、農業・スポーツ等、地域の核にしたい。三輪野江地区ではスマートインター周辺をまちづくりゾーンとして産業・農業等を進めたい。教育に関しては、旭小におけるICT教育の推進、三輪野江小では放課後子ども教室の展開等、其々の地域特色を活かして事業を推進して行きたい。

(問)　地域要望である市民農園の井戸活用・小規模特認校導入・スクールバス導入へのご見解は。

(答)**市長**　トイレも含め水回りを考えて行きたい。また、小規模特認校とスクールバス導入に関しては現状をしっかり見ながら他市に負けない政策を打ちたい。

◆食品ロス削減にむけての取り組みについて

(問)　当市取り組みの現状と新年度の取り組みは。

(答)**市民生活部長**　事業の啓発に力を入れましたが、新年度はさらにエコショップ認定制度の要件に入れ更なる推進に努めます。

「地域包括ケアシステム」の推進を

小野　潔

(問)　「第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定にあたり65歳以上の方への生活実態・ニーズ調査の分析が重要と指摘した上で、①認知症対策として、「認知症初期集中支援チーム」の当市での設置は。②今後の地域包括ケアシステムの胆（きも）は要介護へ行く前の介護予防・日常生活支援事業の人材確保が重要、地域の力で介護を支えるための現在の施策は、東京都武蔵野市での「地域住民による認定ヘルパー事業」を参考として当市でも実施しては。

(答)**健康福祉部長**　①下半期での設置に向けて準備をしている。②介護相談員や地域ケア会議の参加者が担い手になっている、武蔵野市も参考にしていく。

◆**水道事業について**

問　全国では毎年1000件からの老朽化した水道管破裂事故がある。当市での事故、水道料金値上げを心配する声がある。①石綿管の布設替えの今後の計画は。②企業債償還を含めた財政状況は③水道料金値上げは。

答 **水道課長**　①第一土地区画整理地内の石綿管布設替えは平成32年までで吉川駅北口まで、駅南側は平成33年から30年代で終わる見込み。②平成29年度がピーク、現在黒字である。③当面水道料金の値上げは無い。

美南地区などの通学路安全対策。今後の方向性は。

加藤　克明

問　埼玉県では、通学路の安全確保など改善をしていく方針を示している。県の動向を踏まえ今後の市の対応は。

答 **都市建設部長**　県の方針に基づき、平成28年度に概ね5年ごとの通学路安全総点検を実施。今後、通学路整備計画に基づき順次、対応していく。

問　27・28年度と中曽根小学校区に「ゾーン30」が規制された。国が打ち出した有効な手段であるが。幹線道路に囲まれている、生活道路が集まった市街地の区域にと区域設定があり、すべての通学路を指定できない今後、東中学校や旭小学校など区域設定外の安全対策は。

答 **都市建設部長**　文字強調表示・路側帯カラー化・ハンプなど可能性を含め検討していく。

問　美南地区が交通規制されていない理由。警察署との協議の内容は。

答 **都市建設部長**　協議の中で、まちの成熟に合わせて規制をしていく考え。「ゾーン30」を中心に検討し、平成30年度を目標に担当として考えている。

問　区域割・年次計画はあるか。

答 **都市建設部長**　3ブロックに分け、平成30年～32年で行う考えでいる。吉川駅南側の木売・高富・高久地区周辺については平成33年ごろに進めていく考えでいる。

乳がん検診等の検診率向上への取り組み

濱田　美弥

問　乳がん自己検診グラブを希望者に配布したり、複数人で声を掛け合い受診した時には市内でランチが割引になる等の特典を付け受診率向上を図っていく取り組みはいかがか。

答 **健康福祉部長**　市民まつり等で正しい自己触診方法の周知を行っている。母親たちへの出前講座等積極的に考えていきたい。

◆**小中一貫連携教育について、**
市内での取組の事例と成果は

答 **教育部長**　東中・旭小・三輪野江小・栄小にて研究委嘱を行い強化を図っている。出前授業ふれあいプロジェクト・伝え合いプロジェクト等により小学校側が積極的に関わる連携の素地が出来てきている。

問　連携の取り組みの一つとして小学生が部活動に触れる機会を増やしてはどうか。

答 **教育部長**　現在も学校公開等の際に部活動の見学をしたりしているが今後も新たな取り組みを検討していく。

◆**三世代近居の推奨を**

問　三世代での近居には待機児童問題や介護人手不足の解消等メリットが。ポイント制や補助金等で奨励する取組はいかがか。

答 **健康福祉部長**　埼玉県やUR等でも近居支援の取組がなされている。吉川市では未定。

地域の減災力強化。医療依存度の高い在宅療養者の減災対策を

雪田　きよみ

問　3・11では福島の原発事故の影響で、当初は大規模停電が懸念された。訪問看護師は医療依存度の高い在宅療養者の生命をどう守るか悩み奔走した。市の認識は如何か。また在宅介護事業所との防災協定が必要では。

答 **健康福祉部長**　今後医師会と共に検討していきたい。特性に配慮して支援体制を構築していきたい。在宅介護事業との協定は、事業所でどのような協力が可能かとの視点で検討する。

問　災害時避難行動要援護者名簿の有効な活用方法は。

答 **市民生活部長**　今年度自治連合会と民生委員合同の研修会を行った。名簿の取り扱いと情報の共有が難しい。今後も研修を続け、どのように情報の共有ができるか皆さんと検討していく。

◆**介護保険利用実態調査を**

問　政府は介護保険改正案を閣議決定している。3割負担等が導入され、在宅サービス受給者を中心に負担増が見込まれる。一昨年2割負担が導入されたばかりで、まだ影響評価もされていない。実態調査を行うべき。

答 **健康福祉部長**　介護施設とケアマネに、利用者から相談があれば市に連絡するよう伝えている。今後もこのような方法で実態把握していく。

市道の振動対策を

佐藤　誠治

問　けやき通り丸和運輸地先の交差点を県道バイパスにむかう市道は振動がひどいとの声が寄せられている。対策は。

答 **都市建設部長**　沿道にお住いの方から振動に関する要望を受けている。

現地を確認したところ、塗装の傷みが広範囲にわたっていることから路線全体としてアスファルト舗装を厚くするなどの工事が必要だが、まずは応急的な補修工事を発注するための準備を進めている。

問　応急対策と同時に路線全体について、いつまでにどのようにしていくのか。

答 **都市建設部長**　まずは応急的に修繕し、その後アスファルト舗装、現在4センチのアスファルト塗装になっているが、そこを10センチの厚みをもたせて、その後、工事ができるようにしていく。なるべく早くできるように努力していく。

◆**仮称第4中学校について**

問　仮称第4中学校の通学区について駅南地区全体を通学区にするよう求めてきた。

特例で受け入れることになったが周知の方法と施設概要は。

答 **教育部長**　関係地区へのチラシ配布と現在は市のホームページへの掲載、施設概要は29教室。

宇宙と今後のまちづくりが関わる可能性について

稲葉　剛治

問　宇宙飛行士の方や、宇宙に関わりのある方を招いての講演会、ワークショップ等の実施、児童館ワンダーランド全体で「宇宙」をテーマにした催しを行ってはいかがか。

答 **健康福祉部長**　宇宙関連研究機関等の支援事業の活用を検討し、積極的に取り組んで行く。現在、児童館ワンダーランドを盛り上げる為、全力で取り組みを進めている。質問を参考に、宇宙をより身近に感じられるイベントを検討する。

問　具体的に宇宙関連研究機関のどのような支援事業の活用を考えているか。

答 **健康福祉部長**　JAXAが行っている「宇宙学校」というプログラムの活用を考えている。

児童館ワンダーランド

◆**ディフェンスアクションの実施について**

問　幅広い世代、より多くの方に防災減災の取り組みに参加してもらう手段として、サッカーの動きを取り入れたワークショップ「ディフェンスアクション」を行ってはいかがか。

答 **市民生活部長**　ディフェンスアクションは気軽に参加でき、防災減災を身近に感じてもらえる取り組みであると認識している。他自治体の導入事例や、市民のニーズをふまえ研究する。

答えて市長！一般質問―次ページへ続く

中川の治水対策を万全に

遠藤　義法

(問)　中川の左岸、市役所付近や吉川橋付近、駅南の護岸工事計画と完成の見通しは。

(答)**都市建設部長**　吉川橋付近の護岸工事は吉川橋架け替えに合わせ完成する。市役所付近、駅南側などについては緊急性の高い方から随時工事が行われると国から聞いている。堤防の高さは、市役所付近で4・57mである。計画水位は3・6mなので現状上回っており、さらに0・6m高くなる。

◆学校図書室の充実を

(問)　学校の図書整備、新聞の配備、司書の配置に必要な経費が地方交付税措置されているが、市の実施状況は。

(答)**教育部長**　政府から予算措置された平成28年度の小中学校図書関係815万6千円で使われたのは877万6千円、司書関係は506万3千円で経費は327万9千円である。蔵書は満たされているが司書については今後財政担当と協議し対応する。

◆国民健康保険の広域化に伴う施策は

(問)　国民健康保険が都道府県化される。国保税額の見通しは。

(答)**健康福祉部長**　今回の県の方針は、保険税などのあり方を定めたものである。詳細は来年3月までに決まる。

市公立保育所・非常勤保育士の処遇改善と正規化を

小林　昭子

(問)　正規保育士との賃金差が一ヵ月一七万円以上あるのは問題。県内の時給、一時金や退職金制度の有無等と比べても見直しは必要だ。公立保育所の役割は大きい。公立の定員を増やす、職員の正規化等を図るべきでは。

(答)**健康福祉部長**　新年度から時給を4・8%アップし千百円と予算化した。今後の保育所運営は基本的に民間にと考えているので正規化はしない。

◆工場汚水による川端地内の用排水路「新きぼり」の水質改善

(問)　12月の水質検査結果は水質汚濁度を示すBODの数値が県基準の十倍以上も高い。これでは汚水流入を懸念して堰を止めている三郷市の理解は得られない。①今後の対応は。②近隣水路への影響はないか水質検査を。

(答)**市民生活部長**　①今後改善が無ければ、県として勧告を出すとのこと。現時点では検査結果の原因を環境事務所で行っているのでその結果を待っている。②水の流れの詳しい状況を見て検討したい。

◆三輪野江地区の土地利用計画

(問)　一部農地編入への日程は。

(答)**市民生活部長**　平成29年度中の完了を目指している。一月下旬から地権者へ説明を始めている。

防災行政無線の戸別受信機設置に補助金を

吉川　敏幸

(問)　室内で窓を閉めた状態では依然聞き取り辛い防災無線。国が地方交付税措置を講じると言い、防災・減災力の強化に繋がり、さらには、コミュニティ無線として、地域経済活性化も見込めるかもしれない戸別受信機設置に補助金を出してはどうか。

(答)**市民生活部長**　市のホームページ、ツイッター、テレビ埼玉でも入手できるようにしているが、情報収集に努めていく。

◆ふるさと納税制度を郷土愛も絡めきちんとした啓発・説明を

(問)　2月21日付の埼玉新聞に所沢市は一億四千万円の赤字と記事があった。同じ基準に立てば、吉川市は二千万円の赤字。黒字にならなければ、提供できる行政サービスが減る。きちんと制度を啓発・説明すべきでは。

(答)**市民生活部長**　他市町村に寄付すると、結局、自分たちに使われるサービスが減り、市民にとってもマイナス。制度を正しく伝えると共に吉川市に寄付したくなるような魅力があり、選ばれる返礼品にしていく。

◆市独自の近郊型農業の方向性は。

(問)　体験型農業テーマパークの建設を長期的なビジョンに入れてはいかがか。

(答)**市民生活部長**　研究していく。

放射能高濃度汚染土壌市では受入れをしない予定

岩田　京子

(問)　環境省は放射線による高濃度汚染土壌の減容化と再利用のため、8000Bq／kg以下の汚染土壌を全国の公共事業で利用する方針を出した。吉川市の対応はいかに。

(答)**都市建設部長**　地域住民の意見が重要。市内の公共事業で汚染土壌を使う予定はない。

◆甲状腺エコー検査の助成

(問)　9月議会で請願が可決されたが、吉川市で取組む予定は。

(答)**健康福祉部長**　福島県の甲状腺がんの多発は、県民健康調査の中間報告で放射線の影響とは考えにくいと評価されており、甲状腺検査の必要性はない。

(問)　中間報告をした県民健康調査の部会長が「自分の意見が部会長の立場では言えない」と部会長を辞任したのをご存知か。

(答)**健康福祉部長**　承知してない。

(問)　汚染土壌の受入れをしない様に、検診の助成についても市民の意向に沿ってもよいのでは。

(答)**健康福祉部長**　受診を促す状況ではない。

◆文化拠点・公民館のトイレ

(問)　高齢者にとって外出先に洋式トイレがあるかは非常に重要。避難所でもある中央公民館のトイレの全面洋式化の予定は。

(答)**教育部長**　開館30年経っている。大規模改修時に検討する。

学校給食「試食」の場おあしすで提供を

伊藤　正勝

(問)　庁舎建設と並行しておあしす改修が検討されている。一段と人々が喜び集える場所に。新鮮な発想で学校給食の試食の場を設けてはどうか。提案したい。当面30～50食程度。ワンコインでハートフルポットの拡充も。学校やこどもたちをみじかに感じ、さらにおいしい給食へ。

(答)**教育部長**　学校給食センターは学童への給食の提供を目的にしており、不特定多数への提供は想定していない。試食については現在センターで実施しており多くの人々に利用してもらいたい。

(問)　新しい試み。知恵を絞ってほしい。図書館についても、日本一の読書のまち宣言の三郷市や日比谷図書館の変容なども参考に前進をはかってほしい。

(答)**教育部長**　利用者の98%以上が現状調査で満足と評価している。学校図書館は国の基準以上の整備水準にあり、市立図書館とも連携し本の搬送も行っている。三郷の動向も注視しさらにより良い方向を目指したい。

(問)　新中学校の図書室は市民との共同利用のモデルにしては。一階に配置し出入り口も検討を。

(答)**教育部長**　生徒数の急増で複合化の方向は難しい。減少したときにどう活用するか設計段階でそのことも検討して進めるようにしたい。

臨時休業（学級閉鎖）と学童保育について

林　美希

(問)　感染症の感染拡大予防を目的とした臨時休業の基準は。

(答)**教育部長**　明確な基準はないが学級に3割程度の欠席者が出た場合、欠席者の症状、登校児童の体調を鑑み校医の意見を参考に臨時休業の決定をしている。

(問)　基準となる数値の根拠がない。健康な児童の福利が損なわれる可能性を考慮し、臨時休業のあり方自体を見直してみては。

(答)**教育部長**　感染拡大防止と学校運営上の対策を目的とし、関係機関と協議して決定する。

(問)　学級閉鎖実施日、対象学級に属する児童は健康でも学童保育室に登室できない。日中の保育に欠けると認められている児童の福利の保証が必要だと考えるが、臨時休業日に健康な児童の学童保育室の登室受け入れ体制整備を要望するがいかがか。

(答)**健康福祉部長**　集団保育が目的な中、他の児童や市民への感染拡大防止を優先し現行の対応を引き続き実施していく。

◆共助について

(問)　自主防災組織が担う共助は市民の協力が不可欠。第5次総合振興計画後期基本計画策定時、協働を求める記載に是も非もあったが、案通り残した意味は。

(答)**政策室長**　市民交流と協働が地域を育み、共助や全ての福祉につながると考え記載した。

常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆平成29年度一般会計予算

施政方針で庁舎建設費15億円を削減と市長は述べたが、どこと比較したのか。その内容は。

26年3月の基本設計の52億4千万円と比較している。建設事業に係るものに加えて、既に発注した工事費の請負差額も反映している。

時間外手当は前年度比、2177万円の増。今後の考えは。

今年度は市制20周年記念事業。各種制度改革への対応。育児休業者も増えている。職員数は新年度12人増の416人にする方針。人的補てんをしつつ効率化に取り組む。

職員の市内在住者は。

57・5%が市内に在住している。新規採用職員については、市内にと働きかけている。

法人税は2529万円減だが。

市内法人の申告状況は概ね良好。高額の納税法人が転出し、下期分が減額になったもの。

ふるさと納税はプラスか。

28年度の納税額は3300万円。流出額2782万円。申告期間中であり、一概に言えない。

公金の管理は。レジスターは。

ご指摘を受けしっかり取り組む。レジスターは預り金やつり銭に誤りがないか自動で計算。3月1日から稼働している。

賛成多数で可決

◆吉川市印鑑条例の一部を改正する条例

証明書交付にコンビニの多機能コピー機を使うというが、マイナンバーカードが必要か。その手順の説明を。

交付には個人番号カードが必要。暗証番号の入力。証明書種類の選択。手数料入金。取得へ。

マイナンバーカードの取得数は。使用できないコンビニは。

取得数は約5000枚。7%程度。市内32店舗中、使えないのは吉川駅構内の店舗など3ヶ所である。

賛成全員で可決

建設生活常任委員会

◆越谷都市計画事業吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業施行条例

清算金の延滞金が10・75%を乗じた額とすることについて。

延滞金を払えなかった場合は、税金と同様に徴収作業をさせていただく。土地区画整理法では、年10・75%以内で定められるということになっており、悪質な滞納を防止するためにも、この数値を採用した。

賛成全員で可決

◆平成28年度一般会計補正予算

農業振興費の減額について。

認定農業者への事業費補助金。当初見込みは機械購入15件、雇用賃金16件だったが、実績は機械購入12件、雇用賃金14件のため減額補正した。

公園費工事請負費の減額について。

中曽根公園の駐車場整備を予定していたが、地域の方から公園を狭くしてほしくないといった意見があり、再度検討することとなった。

賛成全員で可決

現地視察のようす

◆平成29年度一般会計予算

交通安全対策・40Wの防犯灯はリースとしたが、今回の80W以上を工事とした理由は。

前回は、5410灯あったが、今回は157灯と少数なため工事費とした。なお、修繕については、独立柱以外の共架式157灯で、全体の2割程度。

都市計画街路整備事業・越谷吉川線の進捗状況について。

県施行の吉川橋関係は、工事が約45%、用地買収率が95%と聞いている。中央土地区画整理事業地内は、計画延長1600mのうち、H28年度末見込みで約1210m、74%の整備が完了。

賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

3月7日、委員会開会後、先の12月議会の文教福祉常任委員長の辞任を求める決議の可決を受けての委員長の進退について確認があり、委員長辞任の意思がないとの確認がされました。当該委員長の下での議事進行には応じられない旨の発言があり、休憩を求める動議の可決により暫時休憩となり委員が退席しました。その後、会議を再開するための定足数を満たせず、散会となりました。また、8日の委員会においても同様に散会となり、付託されました議案につきましては、審査未了となりました。

なお、委員会に付託されました議案につきましては、本会議において審議されました。

ホームページ

ぜひ、ご覧ください！

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。

ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会　検索

～議会を傍聴しませんか～ 次回定例会の予定

市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

6月2日（金）本会議【開会日・議案上程】
6月6日（火）本会議【議案審議】
6月7日（水）委員会【総務水道・建設生活】
6月8日（木）委員会【文教福祉】
6月9日（金）委員会【請願審査】
6月13日（火）本会議【委員長報告】
6月14日（水）本会議【一般質問】
6月15日（木）本会議【一般質問】
6月16日（金）本会議【一般質問・閉会日】

※議事運営上、日程が変更になる場合があります。

傍聴時のお願い

本会議は午前10時、委員会は午前9時30分に開会します。

なお、傍聴の際は、次のお守りいただく事項があります。

◆静粛にすること
◆議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
◆騒ぎ立てる等、議事の妨害をしないこと
◆携帯電話等の電子機器の電源を切ること
◆係員の指示に従うこと

3月定例会 審議結果

≪市長提出議案≫

○＝賛成、×＝反対、ー＝退席、議＝議長（議決には加わりません。）、◎＝議案提出者

議案名	議決結果	市民の会・無所属									自民・みらい				共産				公明		
		濱田 美弥	林 美希	岩田 京子	稲葉 剛治	戸田 馨	降旗 聡	伊藤 正勝	稲垣 茂行	齋藤 詔治	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	遠藤 義法	雪田 きよみ	佐藤 清治	小林 昭子	五十嵐惠千子	小野 潔	互 金次郎
吉川市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
吉川市在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市議会議員及び吉川市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市借地買収準備基金条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市地域包括支援センターの人員等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
越谷都市計画事業吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業施行条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市職員の給与に関する条例及び吉川市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
市道の路線認定及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度吉川市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度吉川市水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度吉川市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成29年度吉川市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成29年度吉川市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度吉川市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成29年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成29年度吉川市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

≪議員提出議案≫

議案名	議決結果	濱田 美弥	林 美希	岩田 京子	稲葉 剛治	戸田 馨	降旗 聡	伊藤 正勝	稲垣 茂行	齋藤 詔治	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	遠藤 義法	雪田 きよみ	佐藤 清治	小林 昭子	五十嵐惠千子	小野 潔	互 金次郎
長時間労働の規制強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	議
放射性廃棄物を全国に拡散させないよう求める意見書	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	◎	○	○	○	×	×	議
「森友学園」への国有地格安払い下げの徹底究明を求める意見書　※１	否決	×	―	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	◎	○	×	×	×

＊会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」の略です。
＊※１は可否同数のため議長が裁決に加わり否決となりました。

編集後記

爽やかな新緑の季節を迎えました。三月議会が終わり、吉川市は市政施行20周年の一年を経て新たな次の20年へと向かいます。新市庁舎建設・美南駅東口開発・新中学校建設等大型の事業が動き出す中、市議会の役割も大切なものとなっています。20人の様々な見地からの議論により、一つ一つの案件がより良いものとなっていくよう力を合わせて心を込めて向かいたいと思います。

広報委員会ではいかに親しみやすい紙面にして、多くの方に手に取ってお読みいただけるかこの一年も工夫を凝らし知恵を出し合っていきますのでどうぞ宜しくお願い致します。

濱田美弥

表紙の写真

平成30年の新庁舎完成を目指して、平成28年10月下旬から新庁舎建設工事が着工しました。現在は基礎部分の工事ですので、進捗状況は見た目には分かりにくいですが、この後、建物の工事に取り掛かると日に日に進捗状況が変わっていくのが楽しみですね。

完成しましたら、右記の新庁舎完成予想図のような、素敵な庁舎となります。